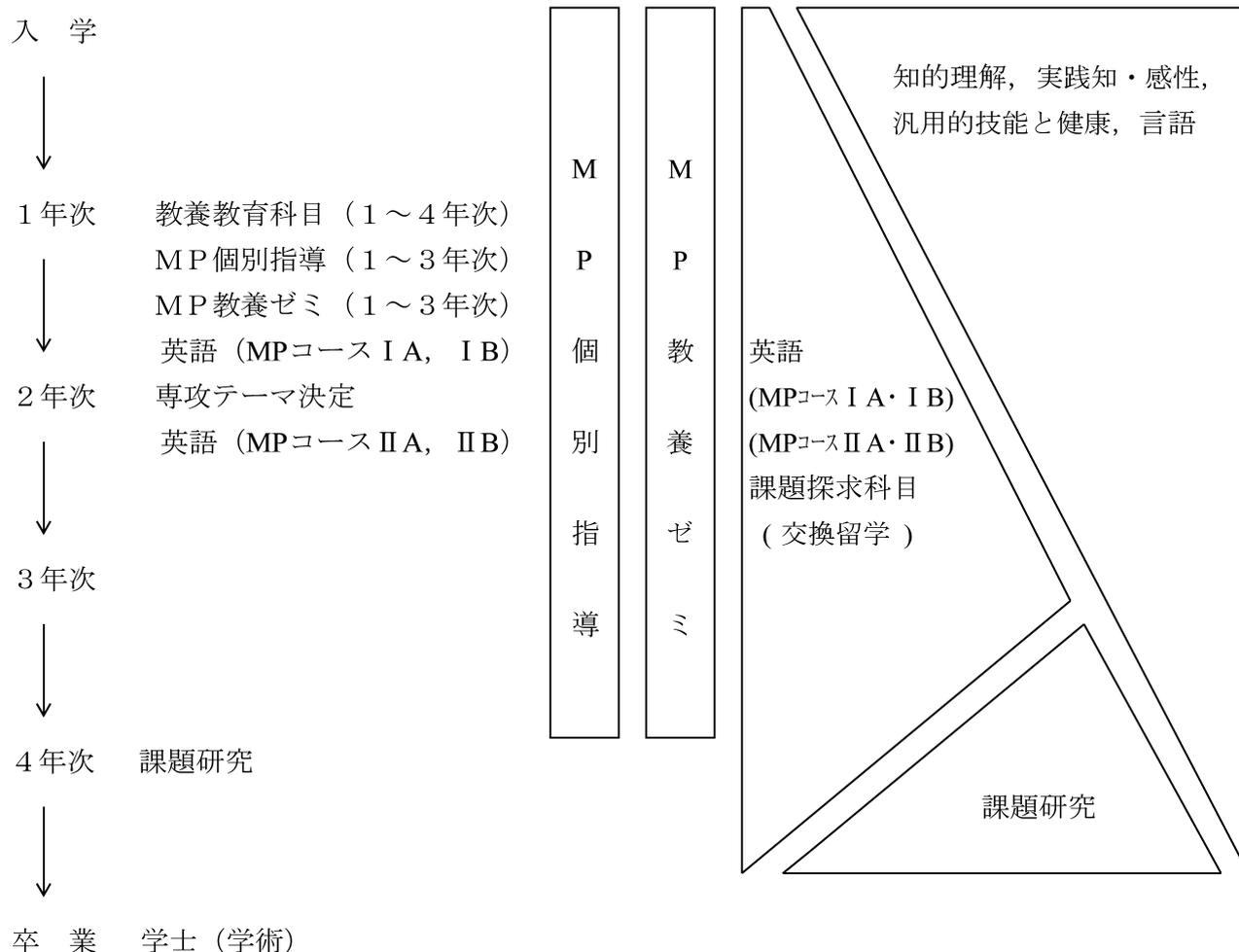


3. マッチングプログラムコース履修のしくみ

このプログラムは、理学部を責任学部として運営されますが、本学の持つ教育資源を最大限に活用する新しい教育課程です。その教育は、個別指導と少人数制を基本としています。

履修の制限が付くこともありますが、各学部は、その開講科目をMPコースの学生が履修することを原則的に認めることになっています。



4. マッチングプログラムコース卒業要件単位数及び履修科目区分表

【AO入試入学者】

区分	授業科目区分		授業科目	卒業要件単位数			開講年次					
				必修	選択	履修方法	1年次	2年次	3年次	4年次		
教養教育科目	導入教育	補習教育	高大接続科目			卒業要件外	○					
			学部ガイダンス科目	自然科学入門(MPコース)	1			○				
		ガイダンス	全学ガイダンス科目	全学ガイダンスI『岡山大学入門講座』	0.5			○				
				全学ガイダンスII『キャリア形成基礎講座』	0.5			○				
	知的理解	現代と社会		人文・社会科学系科目	2			○	○	○		
		現代と生命		生命科学系科目	2			○	○	○		
		現代と自然		自然科学系科目	2			○	○	○		
	実践知・感性	実践知		実践・社会連携系科目				○	○	○		
		芸術知		芸術系科目				○	○	○		
	汎用的技能と健康	情報教育	情報リテラシー系科目	情報処理入門1(情報機器の操作を含む)	1			○				
				情報処理入門2(情報機器の操作を含む)				○				
				情報処理入門3(情報機器の操作を含む)				○				
				ICT(Information & Communication Technology)系科目				○	○	○		
		キャリア教育		キャリア教育・学生支援系科目				○	○	○		
		健康・スポーツ科学		健康・スポーツ科学				○	○	○		
				スポーツ演習(する・みる・支える)				○	○	○		
		アカデミック・ライティング		アカデミック・ライティング科目				○	○	○		
								※注1				
								※注2				
	言語	英語	英語コミュニケーション1-1		0.5	11 ※注6	17 ※注7					
			英語コミュニケーション1-2		0.5							
			英語コミュニケーション2-1		0.5							
			英語コミュニケーション2-2		0.5							
			英語コミュニケーション3-1		0.5					○		
			英語コミュニケーション3-2		0.5					○		
			英語コミュニケーション4-1		0.5						○	
			英語コミュニケーション4-2		0.5						○	
			英語コミュニケーション5-1		0.5						○	
			英語コミュニケーション5-2		0.5						○	
			英語コミュニケーション6-1		0.5						○	
英語コミュニケーション6-2			0.5						○			
プレ上級英語									○	○	○	
上級英語									○	○	○	
英語特別演習1								○				
英語特別演習2								○				
初修外国語		A群	ドイツ語		4			○	○			
	フランス語			○				○				
	中国語			○				○		※注3		
	韓国語			○				○				
	ロシア語			○				○				
B群	スペイン語											
	イタリア語											
高年次教養		高年次教養科目							○			
教養教育科目(必修・選択)計				19	11							
教養教育科目計				30								
専門教育科目	MP教育科目	MP個別指導1		2			○					
		MP個別指導2		2				○				
		MP個別指導3		2					○			
		英語(MPコースIA) ※注5		1				○				
		英語(MPコースIB) ※注5		1				○				
		英語(MPコースIIA) ※注5		1					○			
		英語(MPコースIIB) ※注5		1					○			
		MP教養ゼミ(コミュニケーション)		1				○				
		MP教養ゼミ(日本語)		1					○			
		MP教養ゼミ(異文化)		1				○				
	MP教養ゼミ(自然科学)		1					○				
	MP教養ゼミ(倫理・哲学)		1						○			
	専門科目	課題科目		課題探求科目(各学部が開講する専門教育科目)	52			○	○	○	○	
		課題研究			10						○	
専門教育科目計				77								
教養教育科目・専門教育科目(必修・選択)計				107	17							
卒業要件単位数合計				124	※注8							

※注1: アカデミック・ライティング科目の開講期は、年度の初めに公示する。

※注2: 英語コミュニケーション1-1, 英語コミュニケーション1-2, 英語コミュニケーション2-1, 英語コミュニケーション2-2については、1年次の1学期から4学期のうち、各自指定された学期に、各学期1科目ずつ履修する。

※注3: 初修外国語・A群における各科目の詳細な開講期は、年度の初めに公示する。

※注4: 初修外国語・B群における各科目については、全学部生が履修できるとは限らないため、開講期は示さない。各年度における開講の有無は、年度の初めに公示する。

※注5: 履修登録前までにTOEICスコアを600点以上取得して、なおかつ担当教員の許可を得た場合、上級者向けの3学期期開講の英語(MPコースIA), 英語(MPコースIIA), 4学期期開講の英語(MPコースIB), 英語(MPコースIIB)を履修する。詳細はシラバスを確認すること。

※注6: 教養教育科目の選択の11単位については、「英語コミュニケーション」以外を履修する。

※注7: 選択の17単位は、以下の条件にしたがって履修する。

- 1) 教養教育科目を履修する場合、卒業要件に算入できるのは14単位以内とする。
- 2) 教養教育科目については、「英語コミュニケーション」以外を履修する。
- 3) 専門教育科目については、「課題探求科目」を履修する。

※注8: 教育学部で開講している教員免許状取得のための「教職に関する科目」は、上記「卒業要件単位数合計数」には含まれず、卒業要件外単位とする。

【国際バカロレア入試入学者】

区分	授業科目区分		授業科目	卒業要件単位数			開講年次				
				必修	選択	履修方法	1年次	2年次	3年次	4年次	
教養教育科目	導入教育	補習教育	高大接続科目			卒業要件外	○				
			学部ガイダンス科目	自然科学入門(MPコース)	1			○			
		ガイダンス	全学ガイダンス科目	全学ガイダンスⅠ『岡山大学入門講座』	0.5			○			
				全学ガイダンスⅡ『キャリア形成基礎講座』	0.5			○			
	知的理解	現代と社会	人文・社会科学系科目	2			○	○	○		
		現代と生命	生命科学系科目	2			○	○	○		
		現代と自然	自然科学系科目	2			○	○	○		
	実践知・感性	実践知	実践・社会連携系科目				○	○	○		
		芸術知	芸術系科目				○	○	○		
	汎用的技能と健康	情報教育	情報リテラシー系科目	情報処理入門1(情報機器の操作を含む)	1			○			
				情報処理入門2(情報機器の操作を含む)			○				
			ICT(Information & Communication Technology)系科目	情報処理入門3(情報機器の操作を含む)			○				
							○				
		キャリア教育	キャリア教育・学生支援系科目				○	○	○		
		健康・スポーツ科学	健康・スポーツ科学				○	○	○		
		アカデミック・ライティング	スポーツ演習(する・みる・支える)				○	○	○		
	言語	英語	英語コミュニケーション系科目	アカデミック・ライティング科目			2単位まで	○	○	○	
				英語コミュニケーション5-1	0.5				○		
				英語コミュニケーション5-2	0.5				○		
				英語コミュニケーション6-1	0.5				○		
				英語コミュニケーション6-2	0.5				○		
				英語コミュニケーション1-1 ※注5							
				英語コミュニケーション1-2 ※注5							
				英語コミュニケーション2-1 ※注5							
				英語コミュニケーション2-2 ※注5							
				英語コミュニケーション3-1 ※注5							
				英語コミュニケーション3-2 ※注5							
				英語コミュニケーション4-1					○		
				英語コミュニケーション4-2					○		
		プレ上級英語					○	○	○		
上級英語						○	○	○			
英語特別演習1								○			
英語特別演習2								○			
初修外国語		A群	ドイツ語				○	○			
			フランス語				○	○			
		B群	中国語				○	○			
	韓国語					○	○				
日本語	日本語	ロシア語									
		スペイン語									
		イタリア語									
		応用日本語									
高年次教養	高年次教養科目							○			
教養教育科目(必修・選択)計				19	11						
教養教育科目計				30							
専門教育科目	MP教育科目	MP個別指導	MP個別指導1	2			○				
			MP個別指導2	2				○			
			MP個別指導3	2						○	
			英語(MPコースⅠA)	1			○				
			英語(MPコースⅠB)	1			○				
			英語(MPコースⅡA)	1					○		
			英語(MPコースⅡB)	1					○		
			MP教養ゼミ(コミュニケーション)	1			○				
			MP教養ゼミ(日本語)	1					○		
			MP教養ゼミ(異文化)	1			○				
	MP教養ゼミ(自然科学)	1					○				
	MP教養ゼミ(倫理・哲学)	1						○			
	課題科目	課題科目	課題探求科目(各学部が開講する専門教育科目)	52			○	○	○	○	
			課題研究	10						○	
専門教育科目計				77							
教養教育科目・専門教育科目(必修・選択)計				107	17						
卒業要件単位数 合計				124	※注8						

※注1: アカデミック・ライティング科目の開講期は、年度の初めに公示する。

※注2: 英語コミュニケーション1-1, 英語コミュニケーション1-2, 英語コミュニケーション2-1, 英語コミュニケーション2-2については、1年次の1学期から4学期のうち、各自指定された学期に、各学期1科目ずつ履修する。

※注3: 初修外国語・A群における各科目の詳細な開講期は、年度の初めに公示する。

※注4: 初修外国語・B群における各科目については、全学部生が履修できるとは限らないため、開講期は示さない。各年度における開講の有無は、年度の初めに公示する。

※注5: 英語コミュニケーション1-1, 英語コミュニケーション1-2, 英語コミュニケーション2-1, 英語コミュニケーション2-2, 英語コミュニケーション3-1, 英語コミュニケーション3-2については、入学時4月及び1年次の12月に一斉に実施するTOEIC-IPスコアによりクラス分けを行うため、履修しない場合は、授業担当教員に履修しない旨を伝え、学務システムで履修削除を行うこと。

※注6: 教養教育科目の選択の11単位については、「英語コミュニケーション」以外を履修する。

※注7: 選択の17単位は、以下の条件にしたがって履修する。

- 1) 教養教育科目を履修する場合、卒業要件に算入できるのは14単位以内とする。
- 2) 教養教育科目については、「英語コミュニケーション」以外を履修する。
- 3) 専門教育科目については、「課題探求科目」を履修する。

※注8: 教育学部で開講している教員免許状取得のための「教職に関する科目」は、上記「卒業要件単位数合計」には含まれず、卒業要件外単位とする。

5. マッチングプログラムコース授業、履修、単位、試験等について

学年と学期（学期）

岡山大学では、1学年を4分割する4学期制をとっており、多くの授業は、1科目について16回行うことを基本としていて、学期ごとに完結する学期制を採用しています。

1年・2年・3年・4年			
1学期	2学期	3学期	4学期

教養教育科目

- 1) 外部検定試験等の結果により単位を認定する。
(別表第1, 別表第5「外部検定試験等による単位認定について」参照)

MP教育科目

- 1) 指定されたクラスで履修する。
- 2) 現在開講されている科目については、開講されない場合もあるので、各自でシラバスを確認の上、履修登録すること。

履修科目の登録単位数の上限設定

- 1) 履修科目として登録できる単位数の上限は、1年間50単位とする。
ただし1年次1・2学期においては、30単位を上限とする。
- 2) MPコース教育部長が教育上特別の必要があると認めた場合は、50単位を超えて履修科目を登録できる。(グローバル人材育成特別コースの履修科目、単位認定科目、卒業要件外科目、副専攻科目及び集中開講科目は、履修登録単位数に含まない。)

課題研究の履修条件

- 1) 3年次後期終了時でMPコースの卒業要件単位124単位のうち、修得単位が100単位以上の者。
- 2) 課題研究を行う学部・学科によっては、それぞれの部局の条件が適用される場合があるため、できるだけ早い段階で受入れ条件を確認しておくこと。

副専攻コース(全学開講)の履修について

全学開講の副専攻コースは、MPコースで学習した知識を、さらに広い視野で有効に活かすことのできる能力を養うために別の教育課程として設けたものである。

MPコースの学生は、英語コース、ドイツ語コース、フランス語コースに限り履修できる。

履修対象者は、単位修得状況が良好、成績優秀で副専攻コースの履修が可能と認められた者である。

また、副専攻コースとしての履修により修得した単位は、教養教育科目を除き、卒業要件単位にはならない。

グローバル人材育成特別コースについて

グローバル人材育成院開講のグローバル人材育成特別コースは、MPコースで学習した知識に加え、実践的な英語力とコミュニケーション力を身につけるとともに、異文化と日本文化（地域文化を含む。）への理解を深めてアイデンティティの形成を図り、グローバルに活躍できる中核的人材の育成を目指すコースである。

履修対象者は、一定の英語力を有し、国際的な活動や、日本文化及び地域社会への深い理解を踏まえた異文化交流に意欲のある学生で、かつグローバル人材育成特別コースの履修が可能と認められた者である。

グローバル人材育成特別コース履修者は、全学開講の副専攻コースを履修することは出来ない。

グローバル人材育成特別コースとしての履修により修得した単位は、教養教育科目、専門科目共に、卒業要件単位に算入するものとする。

履修登録

岡山大学学則、マッチングプログラムコース規則等の単位取得に関する規定に従って、各自がアカデミック・アドバイザー（以下、「AA」という。）と相談のうえ、履修計画を立て、年度ごとの授業時間割表・シラバス等により、履修を希望するすべての授業科目を4月（1学期・2学期）、6月（夏季集中開講科目）及び9月～10月（3学期・4学期・冬季集中・春季集中開講科目）に履修登録します。（他学部開講科目の履修については、授業担当教員の許可を受けること。）履修登録は指定された期間中に学生が大学内のパソコンを操作してコンピュータ登録します。（詳細は掲示等を確認してください。履修登録のない科目の単位修得は認められません。）

また、履修登録の手続期間以外は、原則として履修科目の変更（追加登録・取り消し）は認められません。

試験

- 1 試験の時期・・・各授業担当教員の指示によって行われます。
- 2 受験の延期・・・病気その他やむを得ない理由で受験できなかった者は、各授業担当教員の判定により追試験を受けられることがあります。
- 3 受験の心得・・・受験にあたっては、別に示される受験心得や各授業担当教員の指示に従って受験すること。

※ 教養教育科目については「履修の手引」を参照のこと。

単位の修得

授業は、講義、演習、実験、実習のいずれかの方法、またはこれらの二以上の併用により行われます。

授業科目の1単位当たりの学修は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成されることを標準とし、授業内容の方法による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数が定められています。

授業の種類、方法	授業による学修時間	授業時間外の学修時間
講義	15時間	30時間
演習	15時間又は30時間	30時間又は15時間
実験、実習	30時間又は45時間	15時間又は0時間
課題研究	必要な学修等を考慮して、単位数を定める。	

単位の修得は、授業の2/3以上出席したものにつき、試験、報告書及び平素の成績を考慮して各授業担当教員が判定します。

成績の評価

授業科目によっては、「修了」または「認定」を用いて合格の標語とすることがあります。

評語	評価基準（評点）
A+	90点～100点（合格）
A	80点～89点（合格）
B	70点～79点（合格）
C	60点～69点（合格）
F	0点～59点（不合格として単位を与えません。）
W	履修登録後において、本学が別に定める履修取消期間内に、履修取消手続きを行った授業科目のため評点はない。

成績の通知

履修登録科目の成績は、1学期～4学期の各期末に通知（各自がコンピュータで確認）します。4学期末の成績通知については、4年次生は3月上旬頃に、1～3年次生については、3月中旬頃に通知します。なお、特段の理由のない限り、保護者にも成績が通知されます。

他大学等の授業科目の履修について

他大学等の授業科目の履修がMPコースで認められた場合は、履修して修得した単位が本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができます。

他大学の授業科目の履修を希望する者は、所定の手続により履修を申し出ること。

その他

- 1) 履修、単位、成績等に関係あることは、理学部事務室教務学生担当またはMPコースの掲示板で連絡するので見落とさないよう注意すること。
- 2) 現在開講されている授業科目については、都合により開講中止となる場合もあるので、各自で当該年度の時間割等を確認の上で、履修登録すること。